

令和6年2月19日

国土交通省関東地方整備局

関東技術事務所

第6回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介します～

令和6年3月6日（水）から令和6年3月7日（木）の2日間、第6回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、第16期建設技術展示館の展示技術テーマ「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つのテーマを中心に出展者自らが発表するものです。また、関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された、大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して早期の社会実装、実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表や関東地方整備局の施策について講演します。

1. 日 時：【1日目】令和6年3月6日（水）13時00分から15時50分まで
【2日目】令和6年3月7日（木）10時00分から15時40分まで
2. 会 場：さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂（埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1）
会場定員：各日500名
3. 内 容：出展技術発表 発表者：12者（詳細は別紙をご覧ください。）
「大学等研究機関とのマッチング」研究発表 1者
講演：3月7日（木）「BIM/CIMの活用について」
関東地方整備局 企画部 工事品質調整官 飯野 正樹

4. 応募方法

今回の出展技術発表会ではオンライン配信はありません。ぜひ会場にお越しください。

CPD、CPDSの認定を受ける予定です。聴講は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。

5. 取材について

取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表） メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

副所長 金澤 哲也（内線：791-205）

技術企画 人材育成課 技術情報管理官 角田 哲章（内線：791-303）

第16期

参加無料

建設技術展示館

第6回 出展技術発表会

「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」3つのテーマを中心に、出展技術の発表をおこないます。

関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して技術研究開発を促進し、早期の社会実装・実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表も行います。

TIME SCHEDULE

1日目: 令和6年3月6日(水)

13:00~15:50 (受付 12:15~)

2日目: 令和6年3月7日(木)

10:00~15:40 (受付 9:15~)

タイムスケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

会場

さいたま新都心合同庁舎1号館 2F講堂
(埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1)

聴講者による録画・撮影等は一切禁止

オンライン配信はありません。
ぜひ会場にご来場ください。

研究発表

「拡張現実表示を用いたインフラスマート点検および
技術者養成のための支援システムの開発」

横浜国立大学大学院 都市インベーション研究院
田村 洋 准教授

講演

「BIM/CIMの活用について」

関東地方整備局 企画部
工事品質調整官 飯野 正樹

CPD/CPDS 認定予定

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要です。

申込期限 令和6年2月29日(木)

申込方法

12:00 まで
定員になり次第締切

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得

単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの申込
フォームより事前登録をお願いします。
詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

CPDSの単位取得については会場での聴講者のみと
させていただきます。ご容赦ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従って
いただきます。なお、他団体のルールや運営方法に
ついては対応しかねます。

【主催】



国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所

DX-i-Construction

【賛助】



一般社団法人 関東地域づくり協会
Kanto Regional Management Service Association



建設技術展示館ホームページ
<https://www.kense-te.jp/>

TIME SCHEDULE

A技術:「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

B技術:「インフラ分野のDX技術」

C技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

日 程	順 番	時 間	技術 No.	出展者名	技術名
第 6 回	研究	13:00~13:30	研究 発表	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 田村 洋 准教授	「拡張現実表示を用いたインフラスマート点検および技術者養成のための支援システムの開発」
3月6日(水)	1	13:30~14:00	A 36	大林道路株式会社	高耐久性アスファルト混合物「タフアスコン」
【さいたま新都心】	2	14:10~14:40	B 26	五洋建設株式会社	AR技術の活用で施工現場の安全性を向上 「AR安全可視化システム」
	3	14:40~15:10	A 37	東京舗装工業株式会社	半たわみ性舗装の長寿命化を図る「ダイヤツイン高強度」
	4	15:20~15:50	B 27	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	道路を支える調査点検・維持作業技術
3月7日(木)	講演	10:00~10:30	講演	関東地方整備局 企画部 工事品質調整官 飯野 正樹	「BIM/CIMの活用について」
【さいたま新都心】	5	10:30~11:00	A 39	株式会社安藤・間	コンクリートの長寿命化に寄与する耐食技術
	6	11:00~11:30	B 28	地崎道路株式会社	道路インフラの日常点検管理の省力化、低コストを目指した「ACTUS&PSSⅡ」
	7	11:30~12:00	A 40	一般社団法人IPH工法協会	コンクリートの長寿命化を図る注入工法「IPH工法(内圧充填接合補強)」
	8	13:00~13:30	A 41	泉建設工業株式会社	極寒地のコンクリート表層を保護する技術「IZW.Shield(いず・しーど)」
	9	13:30~14:00	A 38	千葉窯業株式会社	円弧状隅角部を有するプレキャストカルバート 「角丸カルバート」
	10	14:10~14:40	A 42	金森藤平商事株式会社	構造物の長寿命化を図るNUKOTE(ニューコート)ポリウレライニング工法
	11	14:40~15:10	B 30	株式会社フジクラ	防災・減災、国土強靱化を支える最新情報通信ケーブル
	12	15:10~15:40	A 43	NTTアドバンステクノロジー株式会社	水を強力に弾き、着雪や着氷も防ぐ技術 「超撥水材料HIREC(ハイレック)」

● 構内に駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いします。



Construction

発表技術の展示ブースは
QRコードからCHECK



建設技術展示館

〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所

建設技術展示館事務局

[TEL] 047-394-6471

[H P] <https://www.kense-te.jp/>

お問い合わせ



国土交通省 関東地方整備局

関東技術事務所

DX・i-Construction